

# 地方創生推進交付金 御嵩町事業実施計画概要

# 【事業名】

1. みらいの「みたけ人」育成推進事業（横展開タイプ）  
（事業年度） 平成29年度（5月31日）～令和元年度
2. 武将と歴史街道を核とした広域観光推進プロジェクト  
（事業年度） 令和元年度～（横展開タイプ）
3. 「わくわく地方生活実現政策パッケージ」における移住支援事業（仮・9月補正予定）（移住・起業・就業タイプ）  
（事業年度） 令和元年度～

※いずれの事業についても交付決定事業計画、地域再生計画の認定を受け、実施に向けて進行中

**1. みらいの「みたけ人」育成推進事業 (横展開タイプ)**  
**(事業年度) 平成29年度(5月31日)～令和元年度**

## 【事業概要】

地元企業の協力と連携のもと、地域課題解決型のキャリア教育の実施やICTプログラム講座などといった御嵩町独自の取組を進め、地域住民と企業とのつながりや交流を深め、そこで身につけたスキルを発揮できる就業環境を整備することで、優秀な人材が育ち、**地元で就職できるような好循環**を目指す。

地域資源を活かしたイベントの開催支援や、御嵩町の特産品「みたけのええもん」のPRや販路拡大を進め、**地域産業の活性化**を図る。

さらに、県内唯一の環境モデル都市の取組を伝え、幼児期・児童期から環境に関心を持ってもらうための取組や体験する機会を創出し、**将来の環境を担う人材を育成**する。

# 【事業費】：実施計画額

## （事業費ベース）

（平成29年度分）：19,058千円（内、ハード0円）

※地方創生加速化交付金を活用し、地域の各関係者が連携して実施してきた取組の結果、明らかになった課題などについて改善を行い、各取組を深化させる。

（平成30年度分）：13,835千円（内、ハード0円）

※地域住民による団体などが自走して事業を運営していくため、自主財源の確保につながる稼ぐ方法や仕組みについて取り組む。

（令和 元年度分）：13,257千円（内、ハード0円）

※本格的に自立し、持続可能なものにしていくための事業形態や組織の形成などを確立

# 【設定KPI】

- ① 御嶽宿わいわい館の年間売上高：  
**令和元年度4,500千円**（平成26年度：2,730千円）
- ② 御嶽宿わいわい館の入館者数：  
**令和元年度12,000人**（平成26年度：9,991人）
- ③ 環境学習講座の参加人数（5年間累計）：  
**令和元年度500人以上**（平成26年度：0人）
- ④ 工業団地における町内居住従業員率：  
**令和元年度23.0%**（平成26年度：21.0%）

# 【これまでの経緯】

## 【平成29年度事業分】

- ・平成29年5月30日に地域再生計画認定
- ・平成29年度5月31日に交付決定
- ・平成30年4月17日実績報告に伴う交付金額確定

総事業費： 19,305,385円

交付額： 9,221,835円

## 【平成30年度事業分】

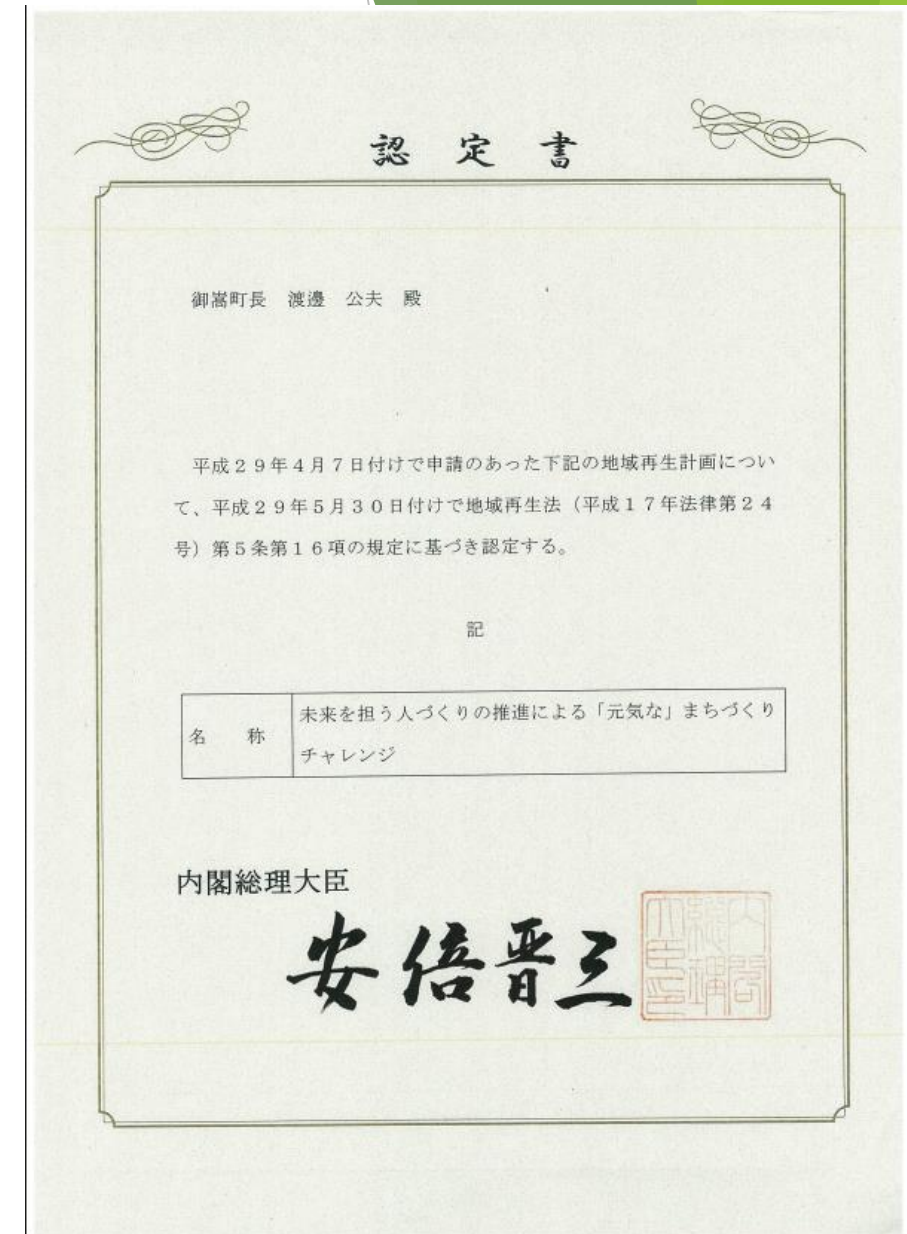
- ・平成30年度4月1日に交付決定
- ・平成31年4月 日実績報告に伴う交付金額確定

総事業費： 13,916,335円

交付額： 6,602,343円

## 【令和 元年度事業分】

- ・令和元年（平成31年）度4月1日に交付決定



## 2. 武将と歴史街道を核とした広域観光推進プロジェクト

(事業年度) 令和元年度～

(横展開タイプ)



## 【事業概要】

「しごとをつくる」「岐阜に呼び込む」「まちをつなぐ」を基本目標に、観光資源の魅力向上のため、体験プログラムの充実、観光客の受入環境整備等により、誘客の拡大、域内の周遊や滞在の促進を図る。

本事業の柱のひとつに、「大河ドラマ「麒麟がくる」を活用した観光誘客」がある。これを推進するため、岐阜県が御嵩町を含む8市町と連携し「**岐阜県大河ドラマ「麒麟がくる」推進協議会**」を組織した。

町は連携地方公共団体としてこの協議会の運営に係る**負担金を支出**するほか、市町が実施するゆかりの地（史跡）の解説サイン等の整備が県補助事業として行われる。

# 【事業費】：実施計画記載額 (事業費ベース：当町分)

(令和元年度分)：900千円

※歴史、戦国・武将観光に向けた観光資源の魅力向上とつなぎ合わせ

(令和2年度分)：900千円

※県内各地と連携した歴史、戦国・武将観光の全面展開

(令和3年度分)：0千円

※歴史、戦国・武将観光の定着と磨き上げた観光資源の発展的活用

「武将と歴史街道を核とした広域観光推進プロジェクト」は3年間の計画だが、「大河ドラマ「麒麟がくる」を活用した観光誘客」は2年間の計画である。

## 【設定KPI】

- ① 観光入込客数（中山道関連施設）：  
令和3年度133万人（平成30年度：130万人）
- ② 観光入込客数（戦国・武将観光関連施設）：  
令和3年度50万人（平成30年度：47万人）
- ③ 常設体験プログラム数（戦国・武将観光関連）：  
令和3年度57品（平成30年度：48品）
- ④ 土産物品数（歴史、戦国・武将観光関連）：  
令和3年度99品（平成30年度：73品）

※域内の合計数値

**3. 「わくわく地方生活実現政策パッケージ」における**移住支援事業**（仮・9月補正予定）  
（移住・起業・就業タイプ）  
（事業年度）令和元年度～**

## 【事業概要】

岐阜県が行う移住・起業支援事業の一環で、移住者に対する支援金の交付、一定の要件を満たす起業者に対する創業支援金の交付や伴走支援等を行う。

市町村において支援金を交付し、その3 / 4が補助金として岐阜県から交付される。岐阜県が補助金として支出するため、交付金の申請は岐阜県においてのみ行う。

当町においては、令和元年9月補正予算に計上（予定）し、移住者に対する支援金の交付を見込んでいる。

# 【事業費】：実施計画額（事業費ベース） 岐阜県分（移住支援のみ抜粋）

（令和元年度～令和6年度）：各100,000千円

岐阜県全域において、

単身移住者：60万円×15人＝9,000千円

世帯移住者：100万円×91人＝91,000千円

を想定

# 【設定 K P I : 移住支援事業に基づくもの】

- ① 移住支援事業に基づく移住就業者数 :  
令和 6 年度 540 人 (各年度 96 人)
- ② 移住支援事業に基づく移住起業者数 :  
令和 6 年度 60 人 (各年度 10 人)

**※岐阜県全域での数値**